



県医師会編

<514>

ナルコレプシーとはナルコは麻酔、レプシーは発作を表し麻酔をかけられたように発作的に眠ってしまうという意味のギリシャ語に由来した病名です。基本的な症状はほとんど毎日、少なくとも三カ月以上持続する日中の耐え難い強いむげ、繰り返す居眠り、睡眠発作と情動脱力発作です。睡眠発作は時と場所を選ばず起こり試験中、運転中、商談中あるいは歩いていて最中でも眠り込んでしまうことがあります。持続は三十分以内で覚めたときはさぼりとした爽快感があるのが特徴です。情動脱力発作とは大笑い、得意、興奮、怒りなど喜怒哀楽の感情が高まったとたんに全身あるいは膝、顎、まぶた

名嘉村 博

名嘉村クリニック

覚醒前幻覚とよばれる寝入りはなや起床直前に本当に体験しているように感じる非常に鮮明な生々しい夢があります。入眠時幻覚時のように本人は恐怖や不安を感じその状況から逃れようとするが体が



### 正しく理解し差別を排除

など姿勢を保つ骨格筋の緊張が数秒あるいは一分程度抜けてしまうことです。このためまぶたが下がる、頬や顎がゆるむ、首の力がぬけて頭が前に垂れさがり、膝ががくがくするなどの症状が起こり重症では倒れこむこともあります。この間、意識は保たれておりてんかん発作やけいれんとは異なります。その他、入眠時あるいは麻痺して動けなくなる金縛り、持するオレキシンが発見されることがあります。わが国ではナルコレプシーではこの濃度が低下していることが分かります。研究が急速に進んでいます。中学校高学年で発症するところが多く症状の程度は人により異なります。また、すべてこのような症状がおこる理由として通常は夢と関連して夜間睡眠時にしか起こらないではないので軽症例では本人も病気であると気づかない場合があります。医療機関を受診しても通常の検査では異常が無いので見過ごされていることもあります。わが国では二十万人程度、沖縄県では二千人から二千五百人程度の患者さんがいるものと推定されていますが大部分はまだ診断されていないものと思われます。眠気を起こす病気は睡眠時無呼吸症候群や特発性過眠症などほかにもいろいろありますが、詳しい問診、夜間睡眠検査、日中の眠気やレム睡眠の有無をみる睡眠潜時テストなどで診断されます。居眠りは従来強い精神力で我慢すれば克服できるものであると誤解されてきました。そのためナルコレプシーを含めた睡眠障害は社会生活上不利益を被ることが多かったのですが高血圧、糖尿病など他の慢性疾患と同様に正しく病気について理解し治療をおこなえば健康人と同じように社会生活ができるのです。なんら差別をする必要の無い疾患であることを強調したいと思います。

### ナルコレプシー



居眠りは従来強い精神力で我慢すれば克服できるものであると誤解されてきました。そのためナルコレプシーを含めた睡眠障害は社会生活上不利益を被ることが多かったのですが高血圧、糖尿病など他の慢性疾患と同様に正しく病気について理解し治療をおこなえば健康人と同じように社会生活ができるのです。なんら差別をする必要の無い疾患であることを強調したいと思います。

